

令和8年度 第1回島本町文化財保護審議会

日時：令和8年8月17日（月）
午後1時30分から

会場：島本町役場 4階
議会第3会議室・第4会議室

1 教育長あいさつ

2 議事

第1号報告 水無瀬家所蔵資料調査について

第2号報告 令和7年度 歴史文化資料館事業等報告について

第3号報告 令和6年度水無瀬荘跡(MS24-1 金井戸・国木原・御堂端)発掘調査成果について

第4号報告 歴史文化資料館耐震補強及び改修工事について

3 その他

水無瀬家所蔵資料調査について

1 調査年度

令和5年度から令和9年度（5か年度）

2 資料数について（令和8年7月31日現在）

資料総数：14,282点（増減あり）

【内訳】

近世史料：495点

近世和歌資料：2,170点

近代史料：8,832点

近代和歌資料：2,785点

3 令和7年度の調査成果について

(1) 近世史料

目録確認終了。

(2) 近世和歌資料

資料目録データの確認（2回目）、目録作成及び収納箱確定等を実施。

(3) 近代史料

冊子・日記関係資料の目録確認、営繕関係資料や書簡類の調査・目録作成を実施。

(4) 近代和歌資料

資料目録データの確認、目録作成を実施。

4 令和8年度調査について

(1) 近世史料

史料概要原稿の素案作成。

(2) 近世和歌資料

資料紙目録の作成・校正等を実施。古文書ラベルの貼付及び写真撮影を実施。資料概要原稿の素案作成。

(3) 近代史料

書簡類の史料調査及び目録作成を行うほか、印刷物類及び経費関係資料の目録校正等や写真撮影を実施。史料概要原稿の素案作成。

(4) 近代和歌資料

資料紙目録の作成・校正等を実施。古文書ラベルの貼付及び写真撮影を実施。資料概要原稿の素案作成。



写真1 令和7年度第1回調査会議実施状況（令和7年10月16日）



（西側）



（東側）

写真2 資料返還場所（水無瀬神宮 神庫2階内部）

令和7年度 文化財調査活用事業(水無瀬家所蔵資料調査)概要

1. 事業の概要及び目的

大阪府三島郡島本町広瀬に鎮座する水無瀬神宮で神職を司る水無瀬家は、藤原北家・藤原道隆^{みちたか}（953－995）の流れを汲む家筋で、水無瀬親信^{ちかのぶ}（1137－1197）を家祖とし、3代・水無瀬信成（1197－1262）が後鳥羽天皇を祀る水無瀬殿の御影堂（水無瀬神宮の前身）に奉仕して以来、約800年間神職を務める家柄です。

水無瀬家が所蔵する資料の一部は既に調査が実施されています。過去には大阪府が主に中世文書を調査し、昭和15年（1940）に『大阪府史蹟名勝天然記念物調査報告書第11輯水無瀬神宮文書』を刊行したほか、島本町が昭和51年（1976）に刊行した『島本町史』の編纂時にも調査が実施されています。

本事業では、これまで内容が明らかになっている資料以外で、神庫に保管されている資料の悉皆調査を行い、調査成果をもとに広く資料の公開・活用を図ることを目的としています。

2. 全体の事業期間

令和5年4月～令和10年3月（5か年）



写真1 水無瀬神宮客殿 桃山時代 重要文化財

3. 令和7年度事業費及び補助金額

事業費 3,600,642円

(国庫補助金 1,753千円)

4. 令和7年度の調査概要

主に近代史料（明治期から昭和期の書簡類など）を中心に、江戸期から近代の和歌資料調査を実施し、文書名や法量、形状、紙数などの項目について、目録等を作成しました。

また、目録作成が終了した近世・近代史料及び和歌資料について、古文書ラベルの貼り付けや一部写真撮影を行いました。

加えて、調査事業の中間報告展示「水無瀬家の逸品 一所蔵資料調査から」を歴史文化資料館で開催しました。



写真2 水無瀬神宮茶室 江戸前期 重要文化財



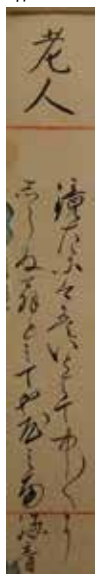
写真3 近代史料（書簡類）の目録作成状況

5. 近世和歌資料の調査（令和7年度）

紀海音（1663～1742）の晩年の筆蹟をとどめた和歌の短冊が見つかりました。海音は、江戸時代前期から中期にかけての大坂の町人で、実家は鯛屋という老舗の菓子商を経営、父貞因、叔父貞富は貞門俳人として当時の俳書にしばしば名が見え、兄貞柳は狂歌師として多くの門弟を抱えた有名人です。この文芸色豊かな家庭環境に育った海音は、浄瑠璃や俳諧、狂歌と多方面で実作を残します。従来、海音およびその周辺人物による発言から、水無瀬家（1675～1741）と交流があり、水無瀬家の月次歌会に出入りを許されていたことが知られてきました。けれども、それを具体的に示す資料は未報告でした。

和歌は、「老人」の題で、「鏡 だに 今はいとはで中々にしらぬ 翁」とみてややみ南、「海音」の署名が入ります（図版1）。短冊は、白色地に朱の野掛けが施されたもので、同体裁の他の8枚とともに上部を紙綴りで綴じられて伝わります。歌題は、1枚目から順に、庭月・野分・塙葛・祈恋・別恋・旅恋・河舟・老人・神社と一筆で書かれており（氏孝によるか）、作者は良祐・義空・禅仙・明秀・近継・直則・禅阿・海音・堅順（海音を除く8名については伝未詳）です。各人が、所与の題にもとづいて作った和歌を、自筆でしたためたものと見られます。9枚目の裏面には、歌題と同じ筆蹟で、成立に関わる注記「享保廿乙卯年八月廿二日 堂座」（「堂」は「當」（通行の字体は「当」）の書き誤り）があり、享保20年（1735）8月22日の催しで詠まれた即興の作とわかります。海音は、この時、73歳でした。

海音の筆蹟資料は、近代俳人で短冊蒐集家の水落露石（1872～1919）が「墨跡、真ニ少ク、珍賞ニ勝フ」（『柿衛文庫目録短冊篇』所収の「貞峨発句短冊」裏面）と記したように、現存点数が多くありません。そのなかで今回の短冊は、『扶桑雷除考』（寺田正晴著、元文2年（1737）刊）所収の海音序文と字の特徴が似通います（図版2、同書に海音序文が収録されることについては塩村耕「紀海音の伝と文事の補訂」（『東海近世』第7号）に指摘あり）。また、図版1



「海音」の号について、享保15年（1730）刊の俳書『をぐらの塵』に「海音改貞峨」とあることから、同年以後は「貞峨」を名乗るようになったといわれることがあります。しかし、海音は、兄貞柳の遺稿集『由縁斎置みやげ』（享保19年（1734）刊）で「愚弟／紀海音堂貞峨」と署名し、『扶桑雷除考』で「海音」の刻印を使用しています。「貞峨」を名乗るようになった一方で、「海音」の号を捨て去ったわけではなく、複数の号を併せ用いていたのが実状のようです。水無瀬家所蔵という由緒ある伝来に加え、筆蹟の面からも、号の使用年次の面からも、この短冊が海音の真筆であることを疑う理由はありません。

和歌は、『拾遺集』に「旋頭歌」として載る「ます鏡底なる影にむかひみて見る時にこそ知らぬ翁にあふ心地すれ」を踏まえます。この拾遺集歌は、『和漢朗詠集』の「老人」の項目にも収録され、中古中世の歌学書でも旋頭歌の代表例として度々引用されました。後代の歌人に広く知られた歌であったことは、宗祇（1421～1502）に「うつしおくも我が影ながら世のうさをしらぬ翁ぞうらやまれぬ」（『宗祇集』）の作例があることなどからも窺えます。鏡の底に映った自らの老い衰えた姿が目にとまり、悲嘆に暮れると詠むのが定型です。ところが、海音は、「（年寄りが通常避けたがる）鏡でさえも、今は嫌だとは感じません。むしろ、何処の誰だかわからないお爺さんが目の前にいるだけです。だから、思い悩むこともないのです」と詠います。

「今はいとはで」に「昔は遠ざけたい気持ち」が確かにありましたがの意を込め、比喻表現であるはずの「知らぬ翁」を言葉そのままに取り成してみせたところに趣向があります。この軽やかな詠みぶりに同席者たちは歓んだことでしょう。人々を滑稽な歌で楽しませた兄貞柳に通う精神が、海音にも流れていたことを示す一首です。



図版2 二松学舎大学附属図書館所蔵 *国書データベースによる

（水無瀬家所蔵資料調査補助員 笈田将樹）

6. 近代和歌資料の調査（令和7年度）

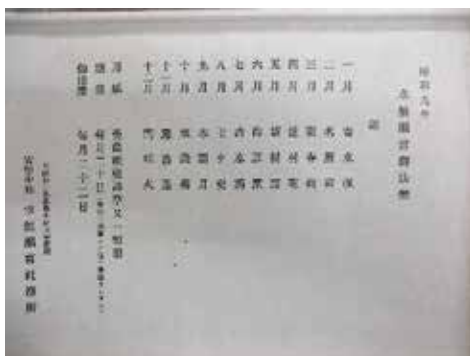
本年度は水無瀬神宮御法楽歌会について報告します。神宮には毎月「美濃紙縦詠草」「短冊」の書式で多くの詠草が寄せられ、22日に神前に捧げる御法楽が行われました。「社務日誌」によれば、和歌の披講は宮司以下職員、若山神社の栗辻寛治等が務めました。

昭和15年（1940）に寄せられた1年分の法楽和歌は、月ごとに「縦詠草」と紙縫りで綴じられた「短冊」に分けられ、十二か月分を纏めて1冊として綴じ、表紙がつけられています。



図版3 昭和15年「水無瀬神宮御法楽和歌」（昭和10年為系詠草）

「社務日誌」によれば、1年分の御法楽の兼題（事前に伝えておく題のこと）は前年末に神宮職員が京都の冷泉家に参邸、もしくは冷泉為系が神宮を訪れて決められ、水無瀬神宮社務所から刷物にして開示されました。



図版4 昭和9年水無瀬宮御法楽兼題

出題者の冷泉為系（明治14年生）は冷泉家二十二代当主で、妻・恭子（明治21年生）、長女の須賀子（明治40年生）、二女の比出子（明治42年生）と共に、縦詠草の形式で水無瀬御法楽歌会にたびたび詠進しています。

恭子は水無瀬忠政（明治14年生、昭和13年6月23日より水無瀬神宮宮司）の妹でした。



図版5 昭和7年10月、恭子、須賀子、比出子の御法楽縦詠草

詠進された法楽和歌は、出版するために、職員によって「水無瀬宮」の罫紙に、月ごとに詠進者の住所、(官職)氏名、和歌の順に編集・清書されました。



図版6 昭和7年10月の御法楽詠草の清書（※画像は住所を消したものです）

水無瀬神宮社務所で編集された和歌集は、年に1回、翌年に『水無瀬神宮御法楽和歌集』と題して発行されました。巻末には詠進者のために水無瀬神宮御法楽和歌兼題、書式、締切等について掲載されています。「昭和拾七年以降 御法楽和歌献詠ニ関する綴」によれば、1年を通して献詠回数が2回以上の人、大阪府下の官幣大社や天満宮、島本国民学校等に発送されています。図版7は左から昭和16年、14年、13年、15年の『水無瀬神宮御法楽和歌集』です。



図版7 (京都産業大学 教授 盛田帝子)

7. 近世・近代史料の調査（令和7年度）

令和7年度の調査においては、水無瀬家所蔵資料のうち、近代の書簡や冊子類の調査を中心に進めました。

水無瀬神宮は後鳥羽天皇の菩提を弔うために建てられた御影堂を始まりとし、明応3年（1494）に後土御門天皇から「水無瀬宮」の神号を下賜されました。その後、明治6年（1873）には官幣中社に列せられ、昭和14年（1939）には官幣大社となり、名称も「水無瀬神宮」と改称され、大阪府下で唯一の神宮となりました。明治時代以降は、官幣中社、官幣大社として、内務省や大阪府の宗教を統括する部局の管轄を受けたため、『大阪府公報』や「昭和十三年大阪府令綴」、「大正五年度往復綴」や「大正十二年度往復回議書綴」といったような管轄部局からの通達や往復の文書をまとめた簿冊が残されており、内務省や大阪府との間にさまざまなやり取りがあったことがうかがえます。

行政機関や宗教関係の団体などの発刊した定期刊行物として、『三島郡神職会報』は第5号（昭和10年8月10日）、第6号（昭和11年1月1日）第8号（昭和12年1月1日）、『島本村報』は第24号（昭和13年5月8日）、29号（昭和14年8月）『広瀬青年支会報』は第2巻第18号（昭和12年12月10日）など、断片的ながらも残されています。これらは、それぞれ神社や村の人事や実施されている行事、日々の動向などが掲載されている広報誌です。

また、水無瀬神宮は、地域における有力な神社として、他の地域の神社とのやり取りも



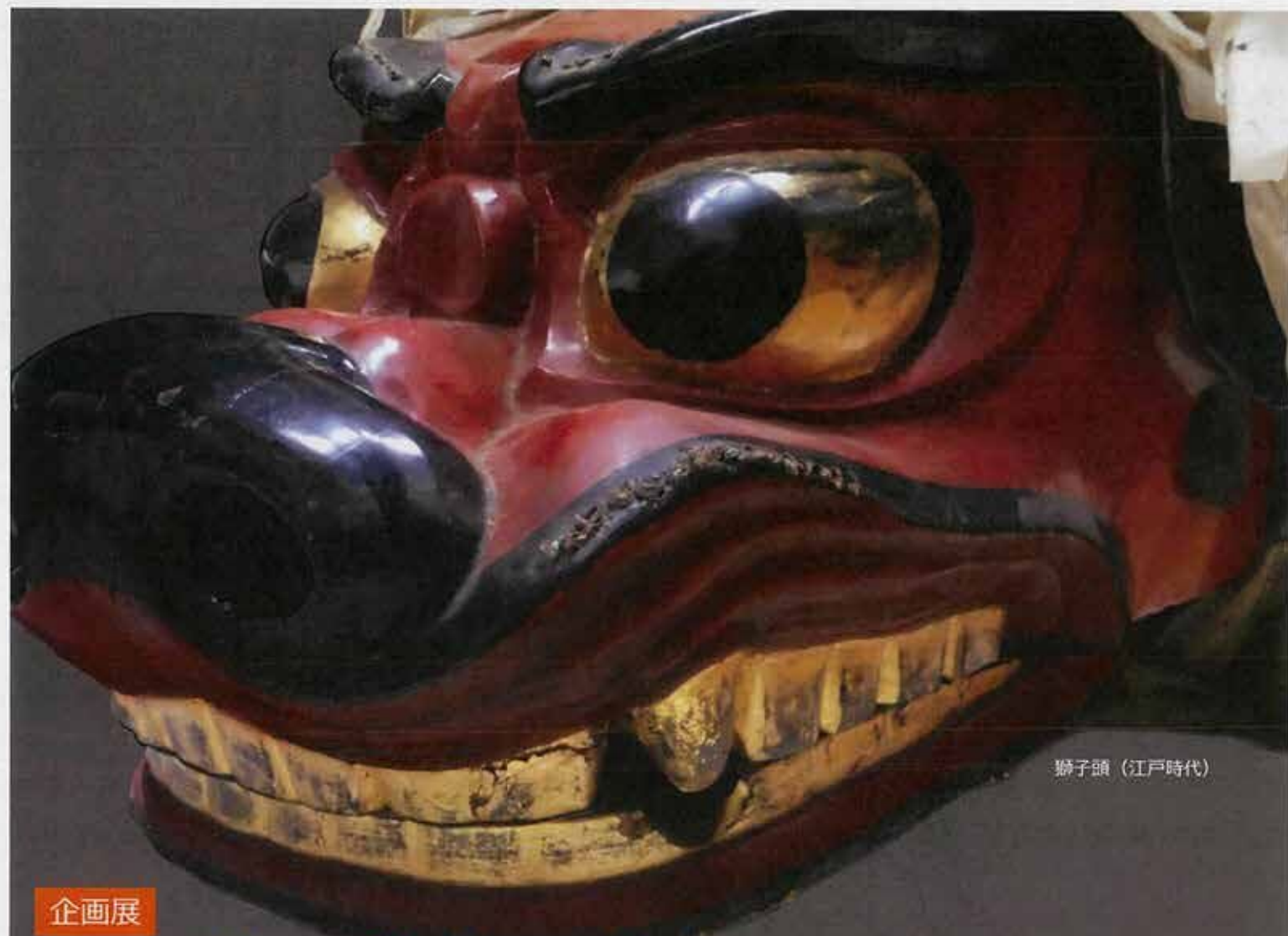
図版8 『広瀬青年支会報』
第12号 昭和12年発行

行われており、各所の神社の定期刊行物も多数残されています。主なものから近隣地域のものを挙げると、『菊水』（別格官幣社湊川神社）、『流芳』（別格官幣社四条畷神社）、『大阪天満宮社報』（天満宮社務所）、『広西両宮社報』（県社西宮神社内広西両宮社）などがあり、遠方では、『大日光』（別格官幣社東照宮内日光東照宮万人講社本部）、『景仰』（別格官幣社常盤神社附属常盤講社）、『かみぞの国幣中社塩竈神社敬神婦人講誌』（国幣中社塩竈神社）などが挙げられます。これら各所神社の定期刊行物が多く残されていることから、各神社間において刊行物を出版した際には献呈することや、交換図書などが行われていたといえるでしょう。

これら神社発刊の定期刊行物は、神宮皇學館館友会神社調査部編『神社関係発行定期刊行物一覧（昭和十三年十二月調査）』（昭和14年5月）に掲載されていないものも多く含まれており、大阪府立図書館や国立国会図書館などでもあまり見受けられない貴重なものが数多く残されているといえるでしょう。



図版9 『島本村報』第24号 昭和13年発行
（植彌加藤造園 学芸員 重岡伸泰）



獅子頭（江戸時代）

企画展

村の鎮守の神様

若山神社

令和7年 10月22日(水) ▶ 12月7日(日)



講演会

※両講演とも午後1時30分(受付は午後1時)
※定員は各回先着順100名

11月1日(土)

若山神社 宮司
栗辻 卓氏

演題

島本の神様の話
ー若山神社の祭礼今昔ー

11月15日(土)

京都産業大学 教授
村上 忠喜氏

演題

ふたつの都市に挟まれて
ー境のマチ島本の民俗ー



資料館ギャラリートーク

11月1日(土) 午後0時45分

11月15日(土) 午後0時45分 (両日各回30分程度)

利用
案内

(開館時間) 午前9:30～午後5時(入館は午後4時30分まで)
(休館日) 毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)展示替えのため、
10月21日(火)・12月9日(火)臨時休館
(入館料) 無料



町指定文化財

「水無瀬駒 関連資料」実物展示

11月8日(土)・9日(日) 午前10時～午後4時



「中将棋講座」

11月8日(土) 午後1時30分(受付は午後1時)



水無瀬家の逸品 ー所蔵資料調査からー

詳細情報は島本町HPをご覧ください。

島本町立
歴史文化資料館

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井一丁目3番1号
TEL (075)661-3411

村の鎮守の神様
ー若山神社ー

中将棋講座

水無瀬家の逸品



村の鎮守の神様 - 若山神社 -

若山神社は古くから、島本町の旧広瀬村・東大寺村・桜井村、高槻市の旧神内村の氏神として厚い信仰をあつめてきました。

また、神社には町指定文化財である「神像（伝 聖徳太子七歳像）」「若山神社 絵馬」をはじめ、さまざまな社宝があります。

企画展では、四村の氏神である若山神社の所蔵文化財や近年復興した例祭神輿渡御行列などを紹介します。

Look1



牛玉宝印版木

ごおうほういん はんぎ

寺院や神社で発行される一種の護符です。
災厄を払い、福を招く護符として、古くから人々に信仰されてきました。

Look2



西八王子社氏地絵図

にしはちおうじしゃうじち えず

若山神社は明治の初めまで「西八王子社」と呼ばれていました。
絵図は貞享2年(1685)のものを写したものです。
近世の西国街道や、当時の神社の様子を知ることができる貴重な資料です。

成果報告

水無瀬家の逸品 - 所蔵資料調査から -

令和6年度に実施した水無瀬家所蔵資料調査で明らかになった近代文書と近世・近代和歌資料などの実物を展示し、調査成果の一部を紹介します。

第1期

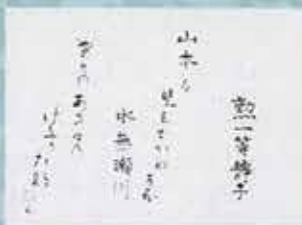
10月22日(水)
～11月5日(水)

展示資料

- 水無瀬兼成自筆
- ☆長恨歌・琵琶引
1冊 安土桃山時代
- ☆長恨歌・琵琶引抄
1冊 天正13年(1585)



長恨歌・琵琶引



久邇宮多嘉王王妃静子
和歌懐紙

第2期

11月6日(木)
～11月20日(木)

展示資料

- ☆久邇宮多嘉王自筆・王妃静子自筆
和歌短冊 2葉 昭和6年(1931)
- ☆久邇宮多嘉王王妃静子自筆
和歌懐紙 1葉 昭和14年(1939)



久邇宮多嘉王・王妃静子
和歌短冊



貴族院議員名簿

第3期

11月21日(金)
～12月7日(日)

展示資料

- ☆貴族院議員名簿 1冊
昭和12年(1937)
- ☆第六十八回 第六十九回帝国議会貴族院
議事経過報告書 1冊 昭和11年(1936)

★ 資料館ギャラリートーク

11月23日(日・祝) 午前11時・午後2時(各回とも30分程度)

令和7年度 歴史文化資料館事業等報告

1 年間入館者数

入館内訳	回 数	入館者数
展示	298日	15,372人
講演会	3回	92人
体験講座・イベント	8回	389人
合 計		15,853人

※1日あたりの平均入館者数 53.2人

2 月別総入館者数

月	開館日数	入館者数	月	開館日数	入館者数
4	25日	1,638人	10	26日	1,453人
5	26日	1,296人	11	26日	1,620人
6	25日	697人	12	23日	840人
7	26日	1,876人	1	24日	692人
8	27日	936人	2	22日	1,089人
9	24日	1,654人	3	24日	1,581人
合 計				298日	15,372人

※1か月あたりの平均入館者数 1,281.0人

3 土日、祝日、振替休日入館者数

月	土日祝日等日数	入館者数	月	土日祝日等日数	入館者数
4	(9)	1,446人	10	(9)	1,006人
5	(10)	932人	11	(12)	1,149人
6	(9)	497人	12	(8)	562人
7	(9)	1,105人	1	(11)	496人
8	(11)	443人	2	(10)	465人
9	(10)	1,271人	3	(10)	1,334人
合 計				(118)	10,706人

※1日あたりの平均入館者数 90.7人

(土日祝日等開館日数118日)

【内訳】

① 企画展

企画展名	開催日	開催日数	期間内 入館者数
「寄贈品展 ～受け継がれる歴史とモノ～」	4月16日(水)～5月18日(日)	33日	1,983人
「いいネ！しまもと ー地元を知るー」	5月21日(水)～7月21日(月)	62日	2,857人

「令和7年度 町内発掘調査成果展」	7月24日(木)～9月7日(日)	46日	1,576人
「村の鎮守の神様 ―若山神社―」	10月22日(水)～12月7日(日)	47日	2,359人
「水無瀬家の逸品 ―所蔵資料調査から―」(第1期)	10月22日(水)～11月5日(水)	15日	853人
「水無瀬家の逸品 ―所蔵資料調査から―」(第2期)	11月6日(木)～11月20日(木)	15日	413人
「水無瀬家の逸品 ―所蔵資料調査から―」(第3期)	11月21日(金)～12月7日(日)	17日	1,093人
「水無瀬駒 関連資料実物展示」	11月8日(土)・9日(日)	2日	75人
「むかしの道具展～持つ・運ぶ・背負う～」	2月5日(木)～3月15日(日)	39日	1,605人
合 計			12,814人

② 講演会

講演会名	開催日	入館者数
談話会「しまもと と むかしの風景」 話者：井上 和夫 氏 (町内在住)	5月24日(土)	21人
講演会「島本の神様の話 ―若山神社の祭礼今昔―」 講師：栗辻 卓 氏 (若山神社宮司)	11月1日(土)	41人
講演会「ふたつの都市に挟まれて ―境のマチ島本の民俗―」 講師：村上 忠喜 氏 (京都産業大学教授)	11月15日(土)	30人
合 計		92人

③ 体験講座・イベント

資料館ギャラリートーク	11月1日(土)	21人
中将棋講座	11月8日(土)	12人
資料館ギャラリートーク	11月15日(土)	16人
資料館ギャラリートーク	11月23日(日)	3人
島本町立第一小学校3年生 体験学習	2月12日(木)	80人
島本町立第二小学校3年生 体験学習	2月13日(金)	93人
島本町立第三小学校3年生 体験学習	2月18日(水)	56人
島本町立第四小学校3年生 体験学習	2月27日(金)	108人
合 計		389人

④ 団体施設使用による催し・展示

内 容	開催日	場所	参加者数
一般社団法人 島本交流協会 「高島市（滋賀県）産直市場」	4月20日（日）	正面広場	232人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・二胡演奏等」	4月20日（日）	展示室・舞台	231人
島本町農業振興団体協議会 「朝市」	4月26日（土）	正面広場	80人
島本音楽フェスティバル実行委員会 「第12回島本音楽フェスティバル」	4月27日（日）	展示室・舞台	718人
若山神社祭実行委員会（若山会） 「例大祭における神輿巡行行列の昼食休憩」	5月5日（月）	正面広場	200人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市（滋賀県）産直市場」	5月25日（日）	正面広場	261人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・第一中学校吹奏楽部コンサート等」	5月25日（日）	展示室・舞台	261人
吟道光世流 志清吟社 「詩吟発表会」	5月27日（火）	展示室・舞台	55人
majikirie 「majikirie（建具・絵画展示）」	6月1日（日）	展示室・舞台	100人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市（滋賀県）産直市場」	6月15日（日）	正面広場	114人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・女声合唱コンサート等」	6月15日（日）	展示室・舞台	114人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市（滋賀県）産直市場」	7月27日（日）	正面広場	91人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・アコーディオンショー等」	7月27日（日）	展示室・舞台	91人
福井英里子ヴァイオリンリサイタル 「演奏会リハーサル」	9月23日（火）	展示室・舞台	2人
島本町農業振興団体協議会 「朝市」	9月27日（土）	正面広場	82人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市（滋賀県）産直市場」	9月28日（日）	正面広場	328人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・島本町立第二中学校吹奏楽部コンサート等」	9月28日（日）	展示室・舞台	328人
majikirieとフォトグラファー松尾圭一郎 「作品展示」	10月4日（土）	展示室・舞台	50人
福井英里子ヴァイオリンリサイタル 「資料館コンサート 福井英里子ヴァイオリンリサイタル」	10月12日（日）	展示室・舞台	65人
鷺山かおりヴァイオリンリサイタル 「ヴァイオリンリサイタル リハーサル」	10月17日（金）	展示室・舞台	2人

鷺山かおりヴァイオリンリサイタル 「ヴァイオリンリサイタル リハーサル」	10月18日(土)	展示室・舞台	16人
鷺山かおりヴァイオリンリサイタル 「ヴァイオリンリサイタル」	10月19日(日)	展示室・舞台	48人
島本反核・平和・人権フェスティバル実行委員会 「島本反核・平和・人権フェスティバル」	10月25日(土)	正面広場	70人
		展示室・舞台	70人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	10月26日(日)	正面広場	148人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・ジャズコンサート・絵画展示等」	10月26日(日)	展示室・舞台	148人
島本町都市創造部にぎわい創造課 「淀川流域百年の計を考える」開催会場」	11月3日(月)	展示室・舞台	30人
社会福祉法人島本福祉会作業所わくわく 「手話ダンスリハーサル」	11月13日(木)	正面広場	60人
社会福祉法人島本福祉会作業所わくわく 「展示・手話ダンス発表・出店」	11月22日(土)	展示室・舞台	50人
		正面広場	50人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	11月23日(日)	正面広場	179人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・フラメンコギターコンサート・絵画展示等」	11月23日(日)	展示室・舞台	178人
島本町都市創造部にぎわい創造課 「第41回島本町農林業祭の来場者用駐輪場」	11月29日(土)	正面広場	100人
島本シンフォニックバンド 「吹奏楽の演奏(クリスマスコンサート)」	12月14日(日)	正面広場	100人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	12月21日(日)	正面広場	76人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・コーラス・絵画展示等」	12月21日(日)	展示室・舞台	76人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	1月25日(日)	正面広場	141人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・絵画展示等」	1月25日(日)	展示室・舞台	140人
鷺山かおりヴァイオリンリサイタル 「ヴァイオリンリサイタル リハーサル」	2月19日(木)	展示室・舞台	2人
鷺山かおりヴァイオリンリサイタル 「ヴァイオリンリサイタル リハーサル」	2月22日(日)	展示室・舞台	2人

鷺山かおりヴァイオリンリサイタル 「ヴァイオリンリサイタル」	2月23日(月)	展示室・舞台	60人
S M A L L 「町内の飲食店による露店販売」	3月14日(土)	正面広場	500人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	3月22日(日)	正面広場	179人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・絵画展示等」	3月22日(日)	展示室・舞台	179人
水無瀬殿(水無瀬離宮)研究会 「歴史講演会」	3月28日(土)	展示室・舞台	50人
展示室・舞台		26団体	3,066人
正面広場		19団体	2,991人
合 計		45団体	6,057人

⑤ 団体入館

月	日	団体名	所在地	来館人数
4	12日(土)	歩こう会	兵庫県尼崎市	14人
		まいまい京都		23人
5	9日(金)	未知の会	京都府宇治市	9人
	21日(水)	NPO法人 大阪府北部コミュニティカレッジ(ONCC) 関西ぶらり散策	豊中市	40人
	23日(金)	ふるさと島本案内ボランティアの会 養成講座	島本町	10人
6	4日(水)	島本町小中学校初任者、新転任者研修	島本町	30人
	10日(火)	茨木市文化財愛護会		6人
9	18日(木)	新木曜会		10人
	24日(水)	島本町年長者クラブ	島本町	16人
	26日(金)	大阪北部コミュニティカレッジONCC		23人
10	2日(木)	吹田郷土史研究会	吹田市	30人
	15日(水)	なると観光ボランティアの会		14人
11	15日(土)	阪急沿線観光あるき		30人
2	19日(木)	島本町立第二保育所	島本町	25人
	23日(月)	宮水学園ウオークB	兵庫県西宮市	22人
3	19日(木)	いもりの会		20人
合計		16団体		322人

4 将棋(貸出)体験/その他

月日	返却日	内容	対象者	その他
11月18日	1月22日(No. 2/10)	中将棋貸出(2セット)	にぎわい創造課	No. 2/10 No. 3/10
1月16日	1月22日	中将棋駒・解説用大盤	にぎわい創造課	No. 1/10

鷺山かおりヴァイオリンリサイタル 「ヴァイオリンリサイタル」	2月23日(月)	展示室・舞台	60人
S M A L L 「町内の飲食店による露店販売」	3月14日(土)	正面広場	500人
一般社団法人 島本交流協会 「高島市(滋賀県)産直市場」	3月22日(日)	正面広場	179人
みんなで楽しむ会・島本 「ストリートピアノ・絵画展示等」	3月22日(日)	展示室・舞台	179人
水無瀬殿(水無瀬離宮)研究会 「歴史講演会」	3月28日(土)	展示室・舞台	50人
展示室・舞台		26団体	3,066人
正面広場		19団体	2,991人
合 計		45団体	6,057人

⑤ 団体入館

月	日	団体名	所在地	来館人数
4	12日(土)	歩こう会	兵庫県尼崎市	14人
		まいまい京都		23人
5	9日(金)	未知の会	京都府宇治市	9人
	21日(水)	NPO法人 大阪府北部コミュニティカレッジ (ONCC)		40人
	23日(金)	ふるさと島本案内ボランティアの会 養成講座	島本町	10人
6	4日(水)	島本町小中学校初任者、新転任者研修	島本町	30人
	10日(火)	茨木市文化財愛護会		6人
9	18日(木)	新木曜会		10人
	24日(水)	島本町年長者クラブ	島本町	16人
	26日(金)	NPO法人 大阪府北部コミュニティカレッジ (ONCC)		23人
10	2日(木)	吹田郷土史研究会	吹田市	30人
	15日(水)	なると観光ボランティアの会		14人
11	15日(土)	阪急沿線観光あるき		30人
2	19日(木)	島本町立第二保育所	島本町	25人
	23日(月)	宮水学園ウオークB	兵庫県西宮市	22人
3	19日(木)	いもりの会		20人
合計		16団体		322人

4 将棋(貸出)体験/その他

月日	返却日	内容	対象者	その他
11月18日	1月22日(No. 2/10)	中将棋貸出(2セット)	にぎわい創造課	No. 2 No. 3
1月16日	1月22日	中将棋駒・解説用大盤	にぎわい創造課	No. 1

令和6年度水無瀬荘跡（MS24-1 金井戸・国木原・御堂端）
発掘調査成果について

百山地区において令和6年度に2回の試掘調査を実施した結果、遺構・遺物が確認されたため、当地を埋蔵文化財包蔵地「水無瀬荘跡」として周知することとなりました。今回計画のうち、共同住宅建設や道路敷設部分など、埋蔵文化財に影響の及ぶ範囲について発掘調査を要すると判断され、計9か所の調査区を設定し、令和7年2月27日から9月16日にかけて令和6年度水無瀬荘跡（MS24-1 金井戸・国木原・御堂端）発掘調査を実施しました。

発掘調査の結果、弥生時代から古墳時代、飛鳥時代から平安時代、鎌倉時代から南北朝時代、室町時代以降など、複数の時期の遺構・遺物が見つかりました。

【1区】

溝1 1区全体で確認した直線状に伸びる大型の溝で、真北方向より東に約16度振っています。長さ90m以上、推定幅6.5m、深さ1.5m前後の規模で、溝内からは鎌倉時代末から室町時代初め頃、14世紀頃の遺物が出土しました。



図1 1区 溝1（南から）

【2区】

竪穴建物1・2 2区南東端で確認した2棟の竪穴建物で、住居跡と考えられます。

残りは良くありませんが、一辺6m前後の四角形状で、住居の隅部分やカマドとみられる焼土・炭混じりの穴が確認できました。建物跡は上下に重なっていたことから、建て替えが行われていることが分かりました。7世紀代の遺物が出土しており、飛鳥時代頃の住居跡と考えられます。



図2 2区 竪穴建物2（南から）



図3 2区 調査区位置図

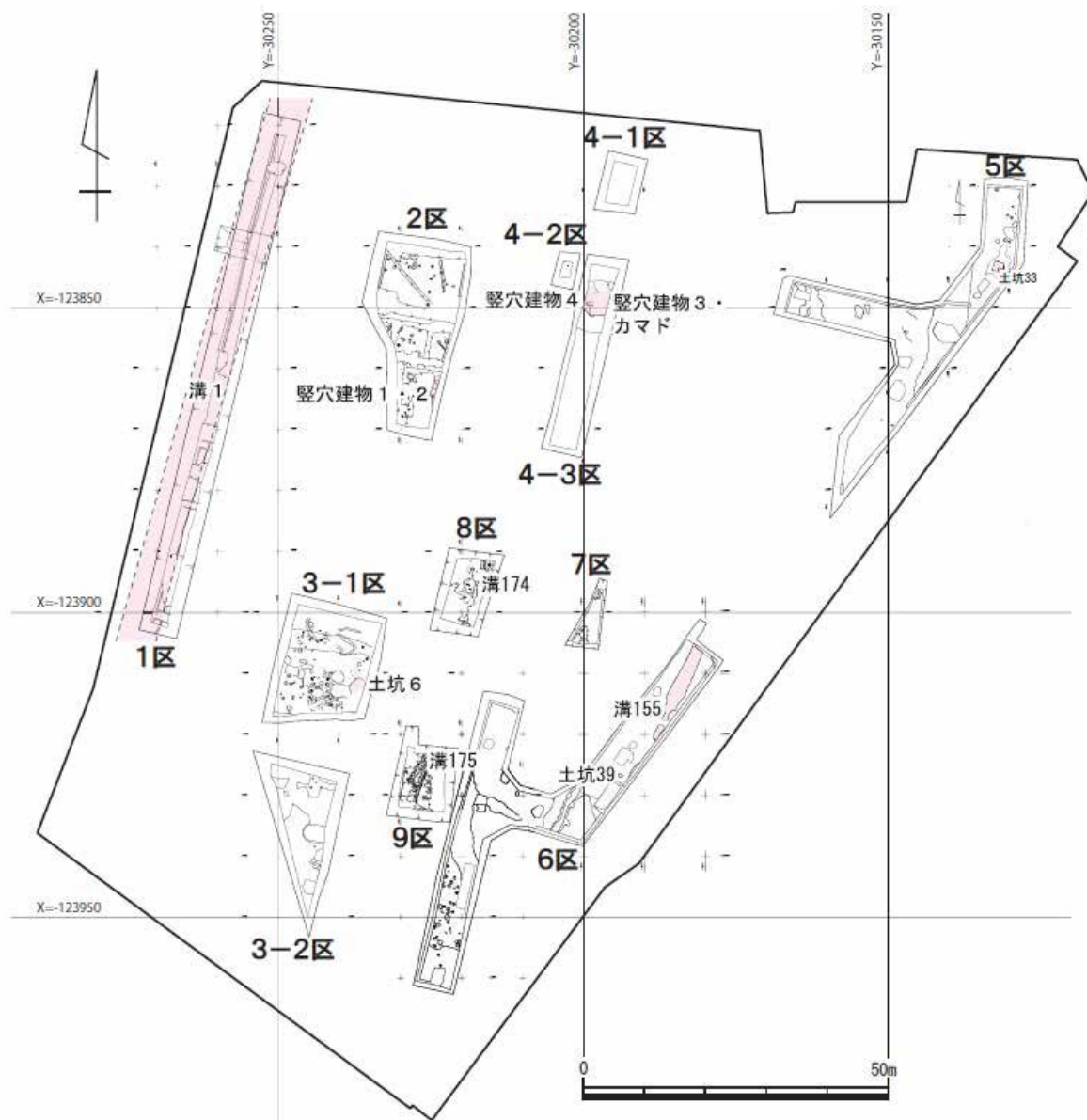


図4 発掘調査区全体図

【3－1区】

土坑6 3－1区南東端で確認した円形の穴（土坑）です。復元径約3m、深さ約1.8mの規模で、穴の下部は自然に埋没し、上部は人為的に埋め戻されていました。埋め戻された土の中から遺物が折り重なるように出土しました。出土遺物は土師器皿が大半で、平安時代末頃から鎌倉時代初頭、12世紀代の遺構と考えられます。



図5 3－1区 土坑6（西から）



図6 3－1区 土坑6 遺物出土状況

【4－3区】

竪穴建物3・4 4－3区北側で確認した2棟の竪穴建物です。四角形あるいは長方形の住居跡と考えられ、竪穴建物3の西側では、カマドの燃焼部分と煙出しの穴（煙道）が見つかりました。これら建物跡も建て替えが行われたことが判明しました。7世紀代の遺物が出土しており、飛鳥時代頃の住居跡と考えられます。



図7 4－3区 竪穴建物3・4
（西から）

【5区】

土坑33 5区北側で確認した深さ約10cm程度の浅い穴（土坑）です。形状は隅が丸いL字状で、穴からは13世紀頃の鎌倉時代の瓦や土器などが出土しています。

【6区】

溝155 6区東側で確認した溝跡で、真北方向より約25度東に振っています。長さ約16m以上、最大幅約2.5m、最大深さ約0.5mの規模で、溝内からは飛鳥時代（7世紀代）の遺物が出土しました。

土坑39 6区東側で確認した、径50cmの円形の穴（土坑）です。穴の中には弥生時代中期頃（紀元前3世紀頃）の壺が埋められており、人為的に土器を埋めた埋納遺構の可能性が考えられます。



図8 5区 土坑33（南から）



図9 6区 溝155遺物出土状況（北から）



図10 6区 溝155（北から）



図11 6区 土坑39（南から）

【7区・8区・9区】

溝174・175 8区・9区で確認した2つの溝跡で、いずれも真北方向より約16度東に振っています。両溝の規模は最大幅約40cm、最大深さ20cmで、同じ溝の可能性が考えられます。出土遺物は土器細片のみで、詳細な時期の特定は難しいですが、室町時代から江戸時代頃の耕作地の溝と推測されます。



図12 9区 溝175（南から）

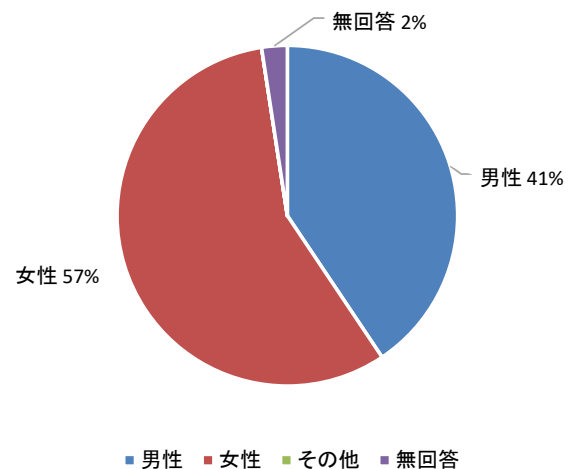
歴史文化資料館耐震補強及び改修工事スケジュール

	R8												R9												R10												R11			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
保存活用計画作成			▼契約									完了▼																												
展示手法検討	アドバイザー打診	▼		▼展示手法検討																																				
環境整備検討	アドバイザー打診	▼		▼環境整備検討																																				
普及啓発検討	アドバイザー打診	▼		▼普及啓発検討																																				
アンケート			●																																					
設計															▼契約																									
耐震補強及び改修工事																												▼契約									完了▼			

No.	分野	氏名	役職	専門分野	備考
1	空間デザイン	前田 尚武	京都産業大学教授	建築・空間デザイン	
2	博物館学	五月女 賢司	公益財団法人 東洋食品研究所 総務部 文化財事業課 課長	博物館学	
3	普及啓発	水谷 亜希	独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館 学芸部 教育室 主任研究員	教育普及	

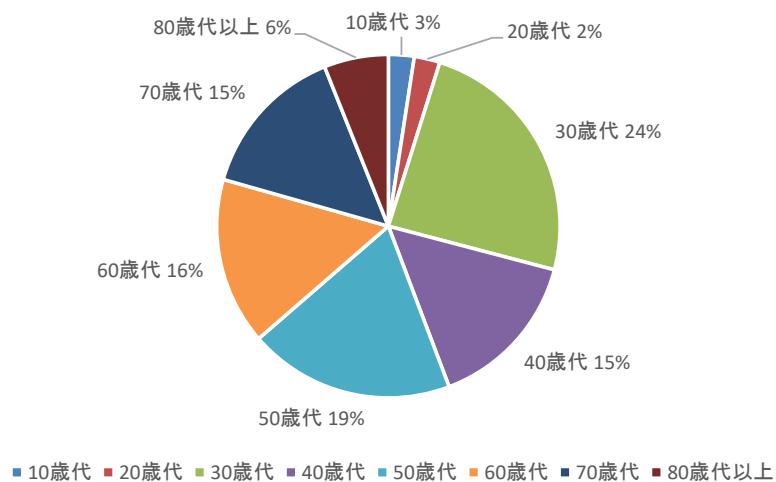
Q1. あなたの性別についてお聞かせください。

男性	女性	その他	無回答	合計
67人	94人	0人	4人	165人
41%	57%	0%	2%	100%



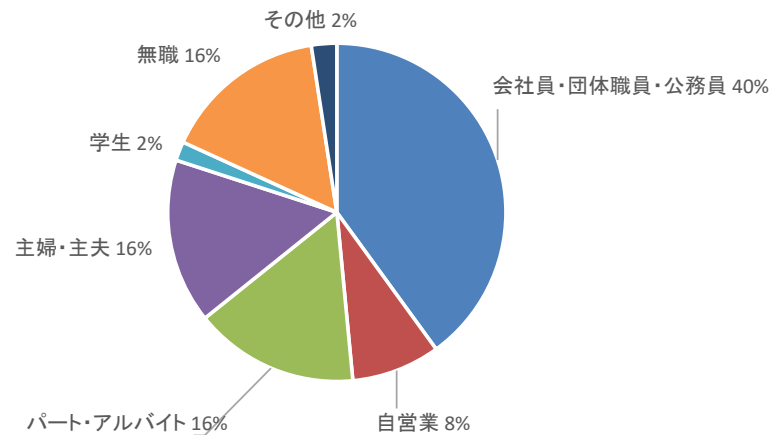
Q2. あなたの年齢についてお聞かせください。

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	合計
4人	4人	40人	25人	32人	26人	24人	10人	165人
3%	2%	24%	15%	19%	16%	15%	6%	100%



Q3. あなたのご職業をお聞かせください。

会社員・団体職員・公務員	自営業	パート・アルバイト	主婦・主夫	学生	無職	その他	合計
66人	14人	26人	26人	3人	26人	4人	165人
40%	8%	16%	16%	2%	16%	2%	100%



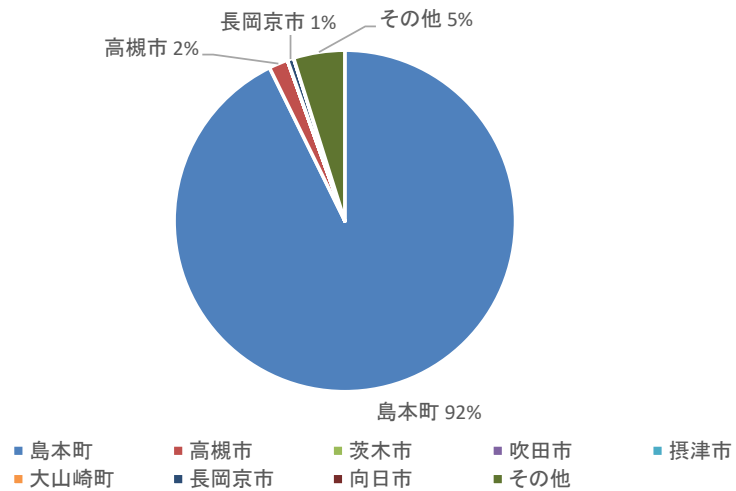
■ 会社員・団体職員・公務員 ■ 自営業 ■ パート・アルバイト ■ 主婦・主夫 ■ 学生 ■ 無職 ■ その他

【その他の意見】

- ・ 年金受給者です
- ・ 法人役員
- ・ 業務委託
- ・ 回答無し

Q4. あなたのお住まいの地域についてお聞かせください。

島本町	高槻市	茨木市	吹田市	摂津市	大山崎町	長岡京市	向日市	その他	合計
153人	3人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	8人	165人
92%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	5%	100%

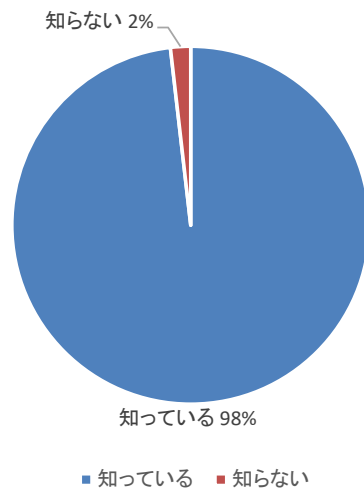


【その他の意見】

- ・ 宝塚市
- ・ 東京都杉並区
- ・ 伊丹市
- ・ 大阪市
- ・ 神奈川県(実家が島本町)
- ・ 大阪市
- ・ 大阪市
- ・ 大阪市在住。生まれ育ったのが島本町で町のLINEフォローしています

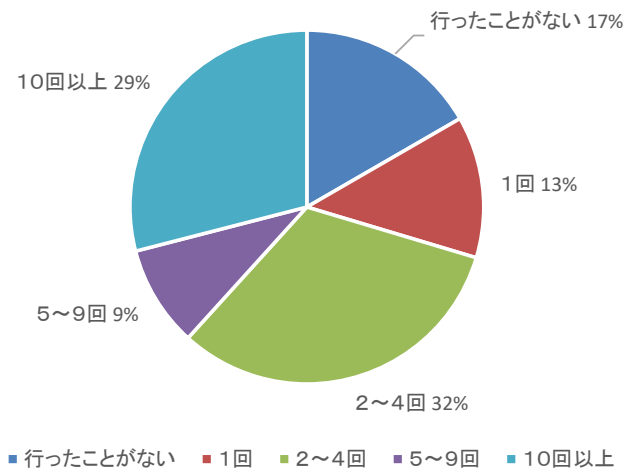
Q5. 島本町に歴史文化資料館があることを知っていますか？

知っている	知らない	合計
162人	3人	165人
98%	2%	100%



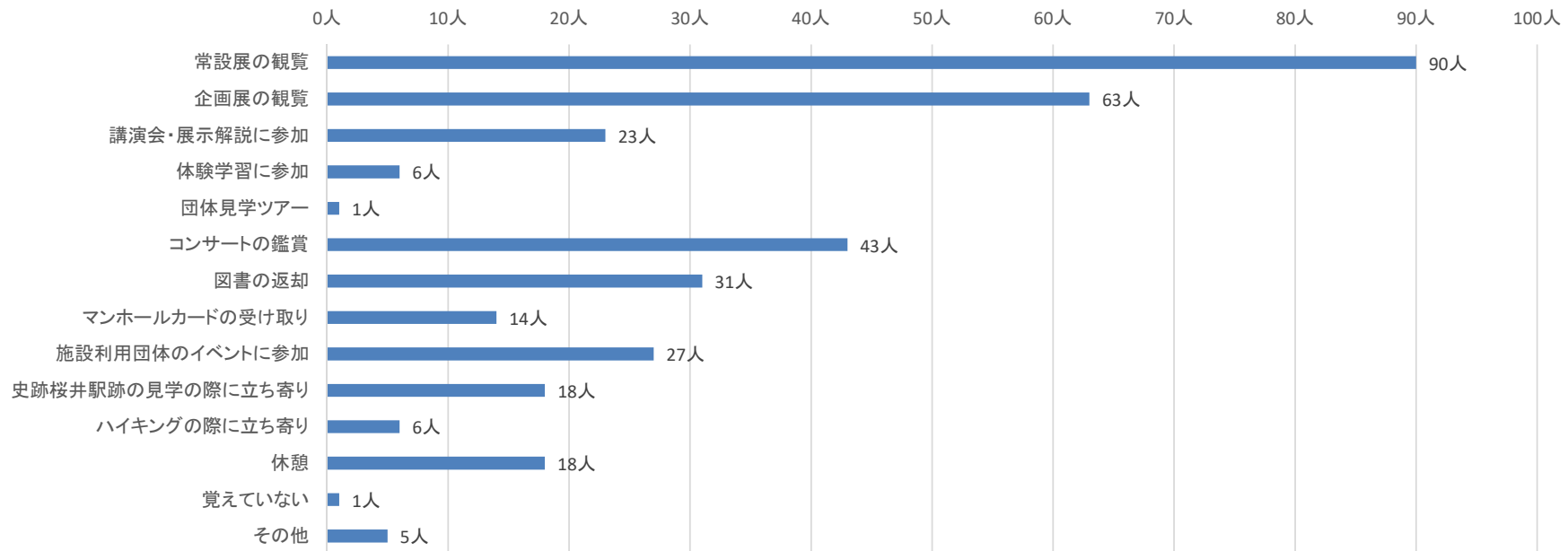
Q6. Q5で「知っている」と答えた方にお聞きします。島本町立歴史文化資料を訪れた回数をお聞かせください。

行ったことが ない	1回	2～4回	5～9回	10回以上	合計
27人	21人	52人	15人	47人	162人
17%	13%	32%	9%	29%	100%



Q7. Q6で「1回」、「2～4回」、「5～9回」、「10回以上」と答えた方にお聞きます。
島本町立歴史文化資料館を訪れた主な目的は何でしたか？（複数回答可）

常設展の 観覧	企画展の 観覧	講演会・展 示解説に参 加	体験学習に 参加	団体見学ツ アー	コンサート の鑑賞	図書の返 却	マンホールカード の受け取り	施設利用団 体のイベン トに参加	史跡桜井駅 跡の見学の 際に立ち寄 り	ハイキング の際に立ち 寄り	休憩	覚えてい ない	その他	合計
90人	63人	23人	6人	1人	43人	31人	14人	27人	18人	6人	18人	1人	5人	346人
26%	18%	7%	3%	0%	12%	9%	4%	8%	5%	2%	5%	0%	1%	100%

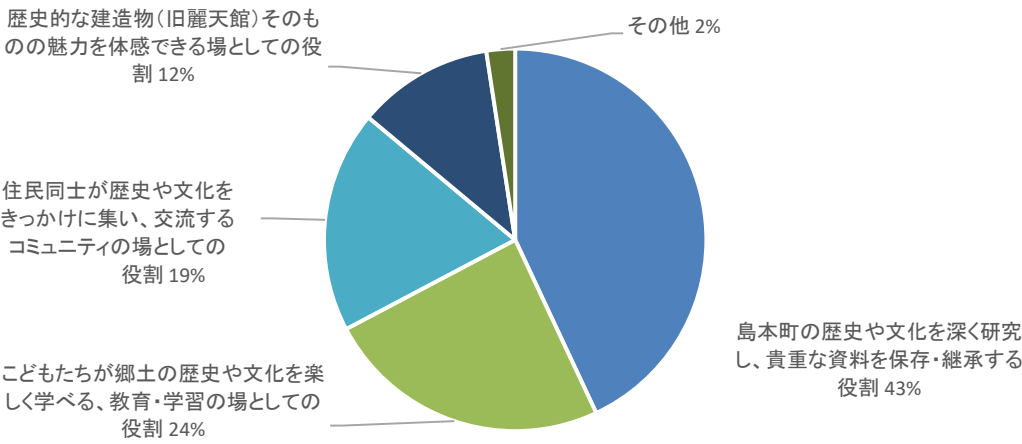


【その他の意見】

- ・ 桜井駅跡について何か展示されているか点検にきた。
- ・ 散歩がてら子供を連れて昔の様子を話して聞かせていた
- ・ 島本駅前の何かのイベントの際に立ち寄り
- ・ 以前から気になっており買い物途中で観覧しました。
- ・ どんなものか見に行った

Q8. 資料館に最も期待する「役割」は何ですか？

島本町の歴史や文化を深く研究し、貴重な資料を保存・継承する役割	こどもたちが郷土の歴史や文化を楽しく学べる、教育・学習の場としての役割	住民同士が歴史や文化をきっかけに集い、交流するコミュニティの場としての役割	歴史的な建造物(旧麗天館)そのものの魅力を体感できる場としての役割	その他	合計
71人	40人	31人	19人	4人	165人
43%	24%	19%	12%	2%	100%



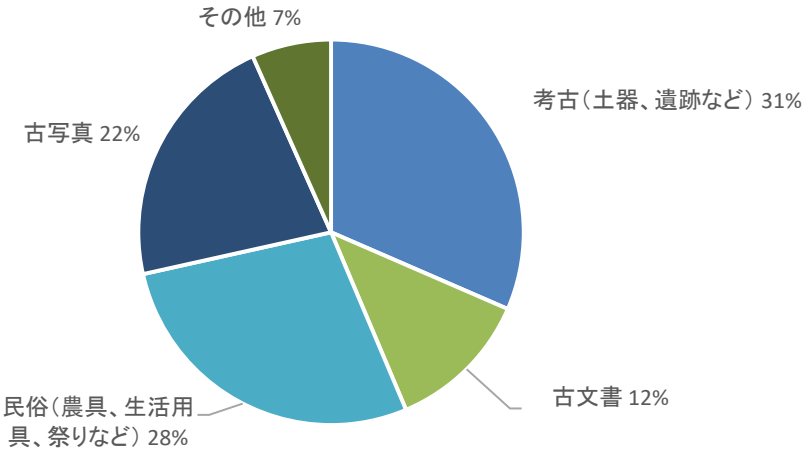
- 島本町の歴史や文化を深く研究し、貴重な資料を保存・継承する役割
- こどもたちが郷土の歴史や文化を楽しく学べる、教育・学習の場としての役割
- 住民同士が歴史や文化をきっかけに集い、交流するコミュニティの場としての役割
- 歴史的な建造物(旧麗天館)そのものの魅力を体感できる場としての役割
- その他

【その他の意見】

- ・ 歴史に関心のない人も楽しめるスペース。駅前なので。
- ・ イベントで住民が集い楽しめる場の提供
- ・ 特になし
- ・ 記入無し

Q9. どのような展示分野に最も興味がありますか？

考古(土器、遺跡など)	古文書	民俗(農具、生活用具、祭りなど)	古写真	その他	合計
52人	20人	46人	36人	11人	165人
31%	12%	28%	22%	7%	100%



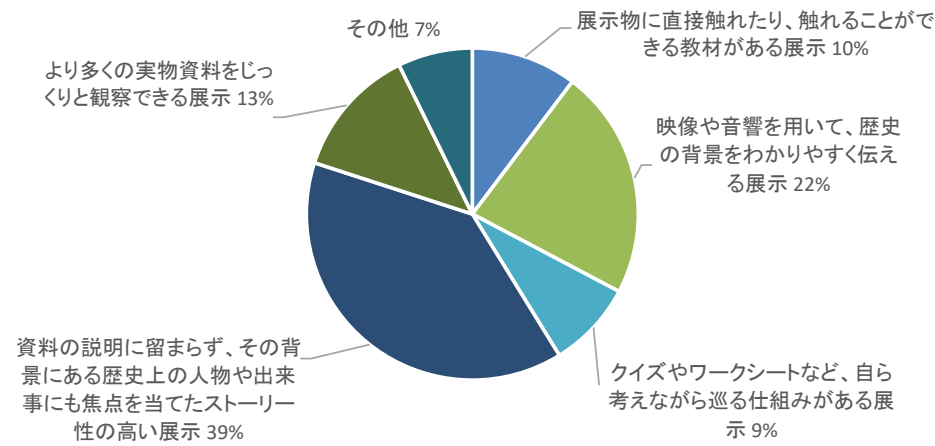
■ 考古(土器、遺跡など) ■ 古文書 ■ 民俗(農具、生活用具、祭りなど) ■ 古写真 ■ その他

【その他の意見】

- ・ 西国街道 町並と歴史の展示
- ・ 最新の歴史研究に基づいた史実に忠実な展示
- ・ 島本町という地域の歴史
- ・ 展示は市役所でやるべき。
- ・ あまり興味がない
- ・ コンサート
- ・ 島本駅前という便利な立地に展示物は必要か？
- ・ 自然
- ・ 将棋関係
- ・ 特に無し
- ・ 回答無し

Q10. リニューアル後に最も期待する展示の方法はどれですか？

展示物に直接触れたり、触れることができる教材がある展示	映像や音響を用いて、歴史の背景をわかりやすく伝える展示	クイズやワークシートなど、自ら考えながら巡る仕組みがある展示	資料の説明に留まらず、その背景にある歴史上の人物や出来事にも焦点を当てたストーリー性の高い展示	より多くの実物資料をじっくりと観察できる展示	その他	合計
17人	37人	14人	64人	21人	12人	165人
10%	22%	9%	39%	13%	7%	100%



29

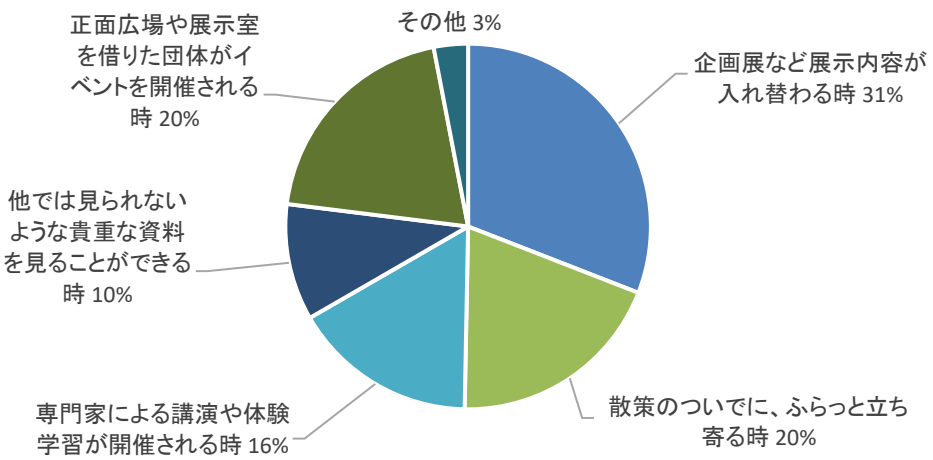
- 展示物に直接触れたり、触れることができる教材がある展示
- 映像や音響を用いて、歴史の背景をわかりやすく伝える展示
- クイズやワークシートなど、自ら考えながら巡る仕組みがある展示
- 資料の説明に留まらず、その背景にある歴史上の人物や出来事にも焦点を当てたストーリー性の高い展示
- より多くの実物資料をじっくりと観察できる展示
- その他

【その他の意見】

- ・ より住民が集って楽しめる施設のスペース
- ・ 変に手を入れないで！史実を間違わない正しい展示を！
- ・ 解体か移設して、若者が集まりやすい施設を建築するべき。
- ・ 今まで通り、コンサートが聞けると嬉しい
- ・ 小学生でもできるような、展示に関する工作がいつでもできるようにしてほしい
- ・ 施設管理者の性格やキャラクターが感じられるような、マニアックな展示があっても面白いとおもう。
- ・ コンサートができる簡易的で良いので施設
- ・ 歴史的な建造物はそのままに町民誰もが憩えるカフェ等にしてほしい
- ・ 駅前の立地を活用した、町民が休憩、団欒できるスペース。
- ・ 1秒でも早く取り壊してほしい。
- ・ 特に無し
- ・ 回答なし

Q11. リニューアル後、どのような時に最も「行ってみよう」と思いますか？

企画展など展示内容 が入れ替わる時	散策のついでに、ふ らっと立ち寄る時	専門家による講演や体 験学習が開催される時	他では見られないような 貴重な資料を見ることが できる時	正面広場や展示室 を借りた団体がイベ ントを開催される時	その他	合計
51人	32人	27人	17人	33人	5人	165人
31%	20%	16%	10%	20%	3%	100%



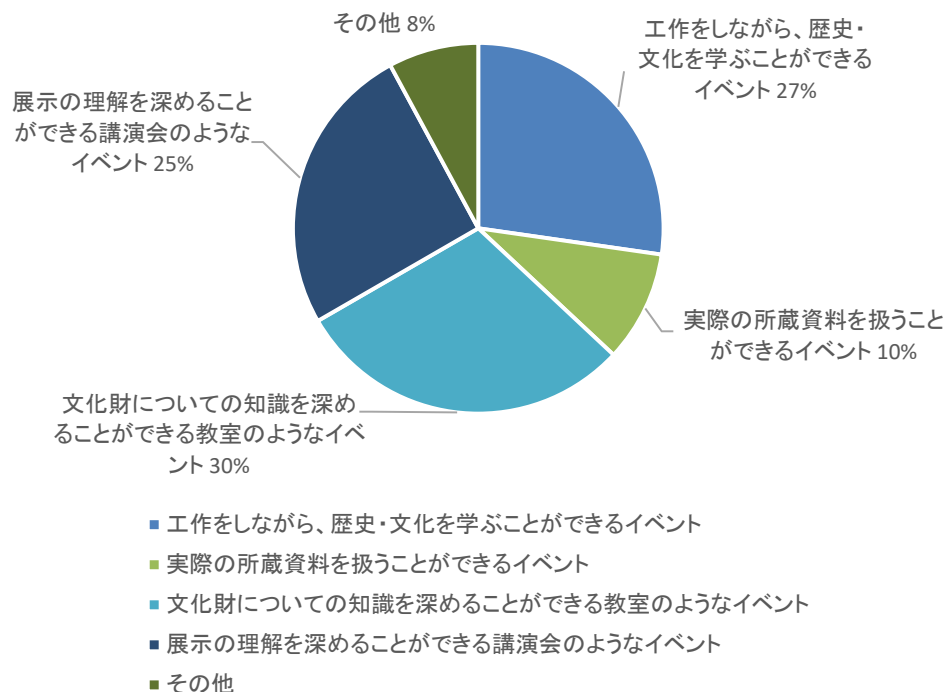
- 企画展など展示内容が入れ替わる時
- 散策のついでに、ふらっと立ち寄る時
- 専門家による講演や体験学習が開催される時
- 他では見られないような貴重な資料を見ることができる時
- 正面広場や展示室を借りた団体がイベントを開催される時
- その他

【その他の意見】

- ・ 商業施設への建て替え。
- ・ あまいせき公園のような昔と今が融合したような施設
- ・ 子どもが喜ぶイベント、学べるクイズラリーなど
- ・ ストリートピアノがいつでも弾けるとよいと思う
- ・ 島本町が運営せずに、JR島本駅前にふさわしい民間の力を活用したもの

Q12. 資料館で開催されるどのようなイベントに最も関心がありますか？

工作をしながら、歴史・文化を学ぶことができるイベント	実際の所蔵資料を扱うことができるイベント	文化財についての知識を深めることができる教室のようなイベント	展示の理解を深めることができる講演会のようなイベント	その他	合計
45人	16人	49人	42人	13人	165人
27%	10%	30%	25%	8%	100%



【その他の意見】

- ・ イベントは市役所かフレセンの方が良い。駅近でやる意味がない。
- ・ 食ベルネッタとか、音楽フェスとか
- ・ コンサート、講演会、映画上映など展示品の関連に関わらず文化的なイベント
- ・ 歴史的建造物のガイド。建物構造や修繕時のエピソードなど聞きたい。
- ・ コンサートや野外イベント
- ・ 音楽やお笑いなどのコンサートやライブ
- ・ 今まで幾度かあったコンサート等、お茶を飲みながら聴きたい
- ・ 企画展
- ・ キッチンカーの食べ比べ
- ・ 特に無し
- ・ 回答無し

Q13. 資料館の情報をどのような手段で得るのが最も効率的だと感じますか？

町の広報誌や公式ホームページ	SNSや公式アプリなどのデジタルツール	新聞、雑誌などのメディア露出	町内の公共施設・掲示板などの掲示物	教育機関(学校・園)を通じて配布される案内	その他	合計
66人	65人	1人	26人	6人	1人	165人
39%	39%	1%	16%	4%	1%	100%

教育機関(学校・園)を通じて配布される案内 4%

その他 1%

町内の公共施設・掲示板などの掲示物 16%

新聞、雑誌などのメディア露出 1%

町の広報誌や公式ホームページ 39%

SNSや公式アプリなどのデジタルツール 39%

- 町の広報誌や公式ホームページ
- SNSや公式アプリなどのデジタルツール
- 新聞、雑誌などのメディア露出
- 町内の公共施設・掲示板などの掲示物
- 教育機関(学校・園)を通じて配布される案内
- その他

【その他の意見】

- ・ デジタルツール、掲示板、広報誌、HP

Q14. 島本町立歴史文化資料館が、より町民に親しまれる場所になるために、あなたが期待することをご自由にお書きください。
(例: 特定の時代をもっと採り上げてほしい、企画展をもっと充実してほしい、など)

- ・大阪染工100年史に展示された一部は、リニューアル後もコーナーに常設してはどうでしょうか？
- ・通路に瓦を置いて間仕切りとなされているが、屋根特に鬼瓦を地べたに置いて踏ぐ人すらいる。
古いしきたりを知っている人々や他地域から来た人からすれば「何と非常識で不謹慎で常識がない」との声を沢山聞かされている。
- ・①後鳥羽上皇の置文や手形の本物を展示して欲しい(一時的でも)。“国宝”として町民の話題になるのでは。
②楠木正成をしまもとゆかりの武将として太平記の一シーンを展示するコーナーを作ったらどうでしょうか。
- ・町民の島本町の歴史の情報源としての役割
- ・地区毎の歴史を各年度に企画展として取り上げてはどうか？栗東市の歴史民俗博物館をぜひ参考にしてもらいたい。
- ・コンサート会場を増やして下さい。
- ・戦前、戦中に、さんざん利用された楠木父子の実像に迫るような展示、戦意高揚のため利用された負の歴史の展示を求める。
- ・町でしっかり議論して検討していただきたいと思います。
- ・企画展を充実し、講演会を開いてほしい

☞ 資料館内での講演会でのギャラリートークの声が聞き取れなかったので、スピーカーなり音声の設備を考えて頂きたい。

- ・歴史背景を踏まえた上で島本町に関連する大きな出来事をわかりやすく展示してほしい(戦争中の出来事を含めて)今の展示はその点あまりにおそまつ。
- ・資料館のリフォーム時に、ぜひオープンカフェのような場所(スペース)を作っていただきたい。テーブルや椅子は安価なもので良い。
障害を持っている人——色々な障害者も健常者も運営に携われるような、手軽な金額で利用できる、オープンカフェの設置を望みます。
自販機も置き、前庭の一部も屋根付きなどにして、老若男女がふらりと立ち寄れるような～場所があればと思います。
- ・残念ながら、今の資料館は何の施設なのか分かりづらく、コンセプトもよく伝わっていないように思えます。また、外観は閉ざされた空間(薄暗い印象)に感じ、気軽に立ち寄るには敷居があります。したがって、まずはこれらを解消し、心理的・物理的に開かれた施設を希望します。
本資料館は島本町の玄関口であり、町民が気軽に集い、触れ合えあうことで、島本町の良さを広め、シビックプライドを高める施設になる可能性があると思っています。町民のアンケートだけでは限界があるため、外部機関の様々な意見や他の自治体の取り組みなども参考に検討を進めていただきたいです。
- ・昭和62年島本町は町議会で「核兵器廃絶、平和都市宣言」を決議されています。今、ロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナ、そしてアメリカとイラン、紛争が次々に起こっています。犠牲になるのは兵士だけでなくそれ以上に多くの子供たちが殺され、親を亡くし、戦禍におびえ、飢えや病気の中で暮らしています。かつて日本も戦争で多くの人が犠牲になりました。沖縄、広島、長崎、都市の空爆。その中で罪のない多くの子供たちが命を落とし、親を亡くし路頭に迷い、生きる術を持たない小さい子、弱い者が無残に死んでいきました。その過ちは二度と繰り返してはいけなと思います。二度と幼い者たちにそういう悲しい思いをさせない。それがこの決議だと思います。
島本町は楠木正成行父子の別れの桜井の駅跡があったといわれ、今もそれが島本町を特色づける歴史のシンボルとなっています。桜井の駅がはたして今の「桜井の駅跡史跡公園」に位置していたかどうかの確証もなく、むしろ戦争遂行のための戦意高揚に利用された歴史を忘れるべきではないと思います。
この文化資料館「麗天館」が建てられた昭和16年(1941年)一月には戦陣訓が布告されています。この中にある「生きて虜囚の辱めを受けず」と言う言葉がどれだけ多くの兵士と一般人を死に追いやったかは忘れてはならない出来事だと思います。そしてこの年12月に日本はアメリカ真珠湾を攻撃して大戦の火ぶたを切りました。もしそういう時代背景を説明することなく島本町の「文化」資料館としてこれを島本町の「文化」であると広く名乗りを上げることを私は恥ずかしく思います。
こうした楠公伝説や麗天館の背景にある正確な歴史的な事実をきちんと説明した展示を入り口に常設されることを望みます。

- ・島本町史にリンクした展示を展示を。

Q14. 島本町立歴史文化資料館が、より町民に親しまれる場所になるために、あなたが期待することをご自由にお書きください。
(例:特定の時代をもっと採り上げてほしい、企画展をもっと充実してほしい、など)

- ・大河ドラマ楠木正成誘致に協力したはどうか？
- ・ ■ まずは、資料のわかりやすさ。 資料の説明書きの配置や色分け(資料をそのものを短時間で理解)、深掘りした解説を効果的に配置したり(展示資料の背景をじっくり学ぶ)など、見学される人のニーズに合わせた展示の工夫。
 - 遊び心ある展示 飽きさせない工夫。
 - 学芸員の方に気軽に質問ができる環境を整えてほしい。
 - ギャラリートークも土日に短時間での設けてほしい。展示の理解度が格段に高まる。
 - 民具などは一定触れると嬉しい。
 - 館内に休憩できるスペース(椅子だけでもいい)があると途中で一息ついて、見学できる
 - 館内イベント 講演会も増えるといい。
 - 庭は町民がにぎやかに過ごせる場になってほしいと思う。そこに来たついでに、中を覗いてみようと思えたら、館内も活きる。

※ 個々の質問事項、すべてと言わないが、複数回答(2個までとか)できる項目があってもよかったと思いました。

- ・ 騒がしいイベントが近隣の公園などで開催されるので、資料館は静かに展示を見られる場所にしてほしい
チラシやリーフレットを気軽に見て情報収集できるように、入り口で配布する印刷物をわかりやすく整理してほしい
- ・ 目の前の広い敷地でフリーマーケットの開催をもっと定期的なものにして欲しい。
外部のショップや一般の方の参加をさらに増やしてほしい。
たまに開催されていても、一部のコミュニティの方々だけで盛り上がっている雰囲気があり、参加しづらい。
- ・ 島本町の歴史文化財がもっと豊かに知的好奇心を満足させられるようないろいろな方法を通して学べる場であってほしい。
企画展は内容を充実させ、回数も増やしてほしい。文化資料の展示方法、照明や見せ方を工夫してもっと魅力的にしてほしい。
隣の大山崎歴史資料館のように入館料を払ってでも見たいと思う充実した歴史文化資料館を目指してほしい。
企画展の冊子を出してほしい。資料館の人が詳しい説明を積極的にできるようにしてほしい。人がいても愛想がないので話しかけにくく知りたいことがあっても聞きにくく展示だけでは満足が得られない。
- ・ 告知をもっと、広く世代間にも知らせる。専門性と同時に、入り口をもっと広く楽しいものにして、今興味ある人だけに留まっているのを打破して欲しい
- ・ 島本駅周辺は飲食店やカフェも少なくともとても寂しいです。資料館の隣地の建設会社の土地を収容して、全体でオシャレな商業施設や公園を整備すればもっともっと魅力的な街になると思います。
資料館自体は移設して保存し、歴史に興味のある人向けの施設として維持すれば良いと思います。
特に、これから街を支えていく若い人に、いまの博物館のような展示を島本町の1丁目1番地？で見せる必要はないのでは？みたい人もかなり少ないと思います。
現状でも平日、週末に関わらず殆ど人がいない施設が駅前を占拠するのは勿体無過ぎる、と思います。
抜本的な見直しに期待します！
- ・ 子供の遊び場を設けてほしい。
子供を連れて気軽に行ける場所がよい。
- ・ 地域の歴史を重層的、多角的に展示してほしい。専門の研究者と郷土史家の協力を得て、まず基本の通史をビジュアルに。安上がりなパネルではなく予算をつけて。
- ・ 県外から島本町に足を運んでもらえるような資料館にしてほしい！
乳児が遊べる施設(例えば:おもちゃ美術館)島本町の木材のみを使用したおもちゃを置いておく
また、お年寄りが集まる憩いの場所として、離宮の水でいれたお茶が無料で飲めるなど
赤ちゃんからお年寄りまで集まれる場所！！
また週末はイベント会場として貸し出しするのもいいとおもいます。

Q14. 島本町立歴史文化資料館が、より町民に親しまれる場所になるために、あなたが期待することをご自由にお書きください。
(例:特定の時代をもっと採り上げてほしい、企画展をもっと充実してほしい、など)

- ・楠木正成や後鳥羽上皇など、この街の偉人にスポットを当て、学校教育で学ぶ以上の内容に触れることで地域に愛着を持って住民が暮らすきっかけになる事に期待しています
 - ・昔から住んでる者には、大阪染工のような企画は興味が凄くある。楽しみ!□
 - ・子供は学校で地元の島本町や大阪府のことを習うだろうが、大人になってから島本町に引っ越してきた人間は、島本町のことを知らない。地理、時代背景や特産物とかもなんとなくな感じで、時を過ごしている。小学生が社会で習うような、あらためて地元のことを学ぶ機会があると良いなと思う。
 - ・私もそうですが、島本が地元でない方が増えています。この町の来し方や、貴重な文化財や風俗について、深くわかる展示を希望します。
土地開発の是非に関する意見を問われても、この町の背景がわからないと、便利なほうへ流れるだけです。
そして下手に子ども向けにする必要はないと思います。知る必要があるのは、まずこの町の大人です。あの光るジオラマはぜひとも残していただきたいです。あれだけでも子どもは喜んでいます。
 - ・子どもが自由に遊べるスペースや、異年齢の人が交流できる場所にしてほしい。
ワークショップの開催などもしてほしい。
自分の家の場所に昔に何があったか、小学校の場所になにがあったかなど、詳しくわかるようにすると、今と昔の繋がりがわかりやすくなるとおもう。
でも、展示スペースは最小限で映像など使って、場所をあまりとらず、他の用途で使えるようにスペースを確保してほしい。
カフェ、子ども遊び場、イベント広場など。
35. 島本町の昔の貴重な資料がたくさんあると思います。今までの展示の仕方に不満を持っていました。まとまりがない！ 雑な展示の仕方！ 物置き場の雰囲気！ コンサートなんかする場所ではないでしょう！ 麗天館(?)が泣いています。
島本の大切にされた昔のお宝をリニューアルした展示場で見せていただくのを楽しみにしています。
- ・テーマにわけて子供も大人も楽しめる色々なイベントが開催されて、人が集まる賑やかな場になることを期待します。
今はモノはあっても、へー！で終わっているの、展示内容がもっと身近な物事とわかりやすく関連していれば、もっと興味を持って見れると思います。
 - ・素晴らしい、歴史的場所を最っと全国に、大河ドラマに挑戦して欲しいと思って居ます！
 - ・時代の変遷過程をビジュアルで表す設備を設置して欲しい。
 - ・若い世代の方に利用してもらえて交流が生まれるような場になってほしいです
 - ・企画展の充実、SNSの活用による宣伝を希望します
行ってみたい、楽しそう！と思える内容なら、気軽に行けると思います
 - ・住民の憩いの場になるようにカフェを併設して欲しいです。
 - ・ハイキングや登山後に休憩を兼ねて立ち寄れる場所があれば、町外の人にも親しまれると思う。土日に、地元野菜の直売などがあればなお良し。期待している！
 - ・まずは町の歴史文化の保存場所としての機能は前提としてあるべで、そのために必要な学芸員や文化財保護技師などの専門職員の知識技能の向上に努めること。
子どもなど多くの方にお越しいただくことも重要ではあるが、安易な子ども向けや、音楽イベントなどのようなものとはしない方が良い。(何がしたい場所なのか見えにくくなる)
町の歴史文化をしっかり発信できるよう、展示もストーリー立てたり、年代に応じて仕立てたり工夫することや、その時々々の歴史の場面で町の歴史文化や建築物が果たしてきた役割、特徴などをわかりやすくすることで、資料館として持つ機能の向上につながると思う。

Q14. 島本町立歴史文化資料館が、より町民に親しまれる場所になるために、あなたが期待することをご自由にお書きください。
(例: 特定の時代をもっと採り上げてほしい、企画展をもっと充実してほしい、など)

- ・カフェとか併設したら色々な世代が集う場所になると思います
- ・正直展示物の魅力があまりない。大河ドラマのテーマなど流行りの展示など不定期に開催するか、カフェなど併設し週末にイベントをするなど
駅前の利点を活かしてもう少し活気のある場所にしてほしい
歴史的建造物のカフェなどだけでも比較的話題になるのでは(大阪市中央公会堂や、あまいせきの京大農場などのように) 島本町は保守的すぎるので思い切って色々行政主導でやってほしい
- ・島本町に住む以前から駅前の歴史文化資料館が好きでした。建物の外観や内部の見た目は極力変えず、展示内容がより多くの人にとって魅力的なものになることを期待しています。
- ・天麗館と庭園の静かで、落ち着いて歴史と風格を感じる佇まいがとても好きです。
この度、耐震工事をされる様で、人が集まる建物なので安心です。
合わせて、冷暖房工事も宜しく願いいたします。
音楽コンサートにて、異常な暑さの日で、帰りに高齢者が階段でふらつかれて倒れるのを見ました。
また、職員さんは、夏も冬も過酷な中、お仕事をされていて、早く空調を整備していただきたいと強く思っています。

建物と、建物の雰囲気なるべく壊さない方法を考えて整備が出来ます様にと願います。

今と同じ様な展示やイベント開催が丁度良いと感じています。

36 島本町の歴史や暮らしについて、古い道具や書物、馴染みのある会社や工場についての資料、昭和のビデオなどとても興味深く懐かしく見せていただいています。
また、建物からの木の香り、素敵な古いしつらえの建築構造や、ガラスのランプを味わいながらの音楽コンサートは格別で素晴らしいと思います。

有難うございます！

- ・子どもが喜ぶイベントをもっと開催してほしい。図書館の分室を設けてほしい。
子どもが学べる体験(土器づくり、発掘体験など、歴史クイズラリーなど)
- ・まずは広報誌でのさらなる案内や紹介による周知を拡大していくというのはどうなのでしょう。(年齢問わず広報誌で情報を取得されている方々は多いのではないかと推察しています。)私自身は歴史館・博物館・美術館・資料館などでの勤務経験自体はありませんが、年齢を重ねるごとに文化財への関心が高まっており、現在は月のうち数日ではありますが、高槻市の歴史館や京都市の博物館においてボランティア活動を行っているところです。もし機会があれば当館でお手伝いができないものかと、島本町の会計年度任用職員制度に登録をしている次第です。以上
- ・明治、大正、昭和の時代の変遷を知りたいです。京都府との境界の変遷なども知りたいです。
- ・建物に愛称をつけて親しみやすいところにしてはどうでしょうか。建物の前のスペースでイベントなど。過去に竹を使った灯籠づくりに参加しましたが、楽しく、幻想的でした。
子どもが大甕が好きで時々思い立っては観に行っています(今は出張中のように観に行けてませんが)
- ・幼稚園に行く前の年齢の子供が遊べるスペースがあるといいと思う
- ・広い場所なので、素敵なカフェがあると
足を運びやすいいつも思っています。
- ・コンサートや講演会(歴史、文化、落語、漫才...etc)の開催で興味の無い人も呼び寄せる。
- ・子どもや歴史に関心がない人にわかりやすい展示コーナーがあると、また次ふらっと行ってみようと思うので期待しています。

Q14. 島本町立歴史文化資料館が、より町民に親しまれる場所になるために、あなたが期待することをご自由にお書きください。
(例: 特定の時代をもっと採り上げてほしい、企画展をもっと充実してほしい、など)

- ・ 資料館の建物に威圧感があり、見た目で興味を惹かない。お金持ちの民家みたい。入って見ようと思う様な建物にしたら良い
役場の跡地に8億も掛けるのなら
家内に資料館をきいたら「どこにあるん？」
それくらい認知されて無いですよー

- ・ 場所毎に今と昔の違いがわかるような展示

- ・ 素敵な建物なので、カフェがあってもいいと思う。

- ・ 限られた予算の中で知恵と工夫をこらしておられる様子に頭が下がります。資料館、生涯学習課の方、ありがとうございます。
せっかく島本町にあるので、水無瀬離宮についての研究をとりあげてもらえると町に住む人間としてうれしいです。
昨年?の企画展で、高浜などの渡しなど地域の歴史について知ることができたのがとても面白く印象に残っています。

- ・ 何年か前に展示物を見たいと思い行かせていただきましたが、暗いし、スタッフの方が何しに來たのみたいな態度で、おまけにケンカしておられ、悪口が延々と続く中、子供と展示物を見て回りました。なんというところに来てしまったんだろうと展示物のことは全然覚えていません。もう行く気がしませんでした。あの時、何かあったのでしょうか？
明るく元気をもらうような資料館になるといいなと思いました。

- ・ 所属している童謡クラブの例会で利用させてもらいましたが、通りすがりの人も、入ってこれる気楽さが、良いと思います ♡

- ・ 町民が期待している事ではなく、島本町立歴史文化資料館が、今出来ることを発信してもらい、町民がその中から何をしてほしいかを選べるようにしてほしい。

- 37
- ・ 町民が所持している昔の風景、建造物の写真などを画像データとして収集して、パソコンなどで現在の地図や風景と照らし合わせて閲覧できる様な展示物(パソコンなどで)があると良いと思います。

- ・ 若い世代にも魅力的なイベントを実施して欲しい。駅の東側は、少し寂しい印象があります。歴史を学ぶ以外の目的でも足を運びたいような、イベントやカフェをもうかて欲しいです。

- ・ 展示の解説、その後実際にその場をまわるようなハイキングツアー

- ・ 鎌倉時代～戦国時代

- ・ 喫茶コーナー等を設けて、ゆったりと見学出来る施設にしてほしい。

- ・ せっかく駅前に位置しているので色々な人々が興味を持っていただけるような歴史的体験型教室、イベント等、楽しみに来てくれるような企画があれば良いと思います。歴史の事だけに限らず島本町民が主催するイベントができる場所にする。
ちょっと違うことですが、野菜の朝市は資料館でやっていたのに場所が変わり人目につきにくい場所になってしまった。場所が変わるだけで日のはいり具合も変わり今の場所少し暗い為、新鮮野菜なのにおいしそうに見えない物もある。どうして変わってしまったのか

- ・ カフェとか併設すると思います。私も歴史には興味がないけど、抹茶アイス食べたくて遠出したりするので、島本の名物絡ませた(水とか?)おしゃれカフェを併設したらいいのかな?なんて思います。

- ・ 外観の分かりやすさ、入りやすさを工夫してほしい

- ・ もったいないなあ 持っているだけでは意味がないよ。メディアに売り込みももっともっとPR 集客イベント等を開催し、とメイドのUP強化

- ・ 綺麗な喫茶が欲しい

- ・ 気軽に町民が集まれる場所にするため、定期的に町内の各団体との話し合いを持つべきです。

- ・ 歴史資料館のたたずまいに合う和の雰囲気や、町の風景画や写真を飾り、メニューにも水アピールできるものや水まろくん焼印のお菓子等島本町らしさを盛り込んだ、ちょっとした休憩所が併設されれば資料館に足が向くきっかけになりそうです。

Q14. 島本町立歴史文化資料館が、より町民に親しまれる場所になるために、あなたが期待することをご自由にお書きください。
(例: 特定の時代をもっと採り上げてほしい、企画展をもっと充実してほしい、など)

- ・ 駅前の好立地なので、電車の待ち時間やバスの待ち時間に、おじいさんおばあさんのお買い物の休憩に、妊婦さんや赤ちゃんの空調の効いたお散歩向けに、気軽に立ち寄れる施設になってほしい。大きい町の資料館ではないので、外部の人向けの立派な施設でなくてよいと思う。ピックアップするものを定期的に変えるなどして、立ち寄る度に新たな歴史知識の深まるような、可変性の高いレイアウトにしたほうがよいのではと考える。
- ・ 歴史的建造物の中に島本町の歴史がストーリー的に紹介・展示されており、ゆかりのある時期に企画展が開催されること。町内の幼小中学校の授業の一環に使える事。正面広場の朝市など地元の農家さんとの交流ができる場所であればいいと思います。
- ・ 島本町の住人だけで無く近隣市町村の方にも情報配信して訪問者を増やす事を希望します。
山崎駅の乗降客はサントリー山崎蒸留所か天王山へのハイキング客が殆どで島本町を訪れる方はおられない。
にぎわい創造課でのイベントは出来ない。
歴史博物館な知名度を上げついででも良いので島本町を訪れる機会の施設にしてほしい。
- ・ 子どもたちの作品展示の場所にすると良いと思う。
- ・ カフェを誘致して、資料館にくる人以外にも人が集まる施設にしてほしい。
- ・ 何かのお祭りなどのイベントとの共同開催など
- ・ 茨木市ではお寺でコンサート、竹祭、等
人を集めるイベントをされてます。歴史を
広めるためにも他のことで町民を集めるは
不謹慎ではないと思います。
38 楽しいイベントを毎週末に開催してほしいです。現在行われているイベントだけでなくどの世代も気軽に楽しめるイベントを開催していただけたら嬉しいです。よろしく願います。
- ・ ピアノコンサートの時に行ったが、歴史的建造物内で雰囲気がとても良かった。
(夏でかなり暑かったが)
イベントきっかけで、資料館の展示物にも触れる事ができた。今後もコンサートなどのイベントをたくさん開催してほしい。
- ・ 来館者を増やすのがまずは大切だと考えます。
休憩や自習などに使える机とイス、管理された空調
- ・ 各世代の興味ある要素を持った場所になってほしい。30代としては、子供が遊べることや何かとのコラボが興味につながると感じます。
- ・ 島本町と関わりのあるイベントや企画展などをもっと取り上げて行なって頂きたい。
- ・ リニューアルされても歴史に興味ある人しか利用しないのでは？
- ・ 時代やテーマを絞り、定期的に展示内容をローテーションすることで、展示内容に変化が出ると思います。また、駅前の立地を活かして町民が休憩や団欒ができるスペースを設けて欲しいです。
- ・ 町内外の人が行ってみたいと思うような企画を上手くPRして欲しい
- ・ 常駐している職員の方に質問するといろいろ教えていただけることを発信したら良いと思います
- ・ さらに島本愛を強くするような展示だと嬉しいです！
- ・ 建物が古い建物でステキですが、施設が老朽化してきているのが残念です。
- ・ ゆっくりできる、カフェなどの施設
- ・ 貴重なレトロ建築を活用したカフェを併設するなどして町内外から人が広く立ち寄れるスポットを作ることで島本町のブランド力を高めることを期待します。

Q14. 島本町立歴史文化資料館が、より町民に親しまれる場所になるために、あなたが期待することをご自由にお書きください。
(例:特定の時代をもっと採り上げてほしい、企画展をもっと充実してほしい、など)

- ・麗天館と呼ばれていた頃に島本町で生まれ育ったのでこれからも町の歴史やこの建物を大切にしてほしいです。町の子どもたちが楽しくすごせて、ゆっくりした時間が流れている雰囲気を大切にしてほしいです。
 - ・現在は外から見えにくいため、入りにくい印象です。外からでも中が見えるように工夫をしてもらえると、より活性化するかと思います。
 - ・スペースの一角にスターバックスなどを誘致して、より立ち寄り易い場所にして欲しい。
 - ・イベント、企画など今もありますが、資料館の内部自体が暗くて入りづらい。もう少し、明るい清潔感のある雰囲気だと入りやすいかなと思う。
 - ・JRの駅前の一等地なのでカフェ等フラット気軽入れて少し時間潰し的に利用を兼ねて島本町の良い所やイベント情報が分かる子供から高齢者の幅広く人が集まれる場所にして欲しい。
 - ・見て触れる、たまに子供向けイベントなどをしてもらえると嬉しい。
- 39 島本町が運営から手を離して、更地にして貸し出すか、思い切って売却した方が良い。駅前にあるのに全く活気のない施設を今更島本町が有効に活用できると思わない。門真市を見習ったらどうか。
このアンケートに関しても、自分たちの都合の良いところを抜粋して、それがあたかも町の声であるように切り取って、島本町の行いたいようにすることだけはやめてほしい。アンケート結果は抜粋版ではなく、全ての結果を公表すべきで高さ規制の時のように抜粋版を公開することだけはやめてほしい。
- ・赤ちゃんや小さい子がいても行ける場所にしてほしい(ファミリーで行ける)
 - ・図書館を駅前に設置してほしい
 - ・保育園や学童で将棋の人气が高く、夢中になっている子も多いため、子どもが将棋に触れられる場所になってほしい。
島本は将棋の駒をおしており、また将棋会館のある高槻に近いにも関わらず将棋のイベントがない(少ない?)のが残念です。

例 将棋教室、将棋大会、自由に子ども同士で対局できるスペースなど

- ・島本を知れるガイドとしての窓口的な役割と、住民の交流や次世代への継承などの取り組みが活発に行われ、長く愛される歴史館になってほしいと願っています。